

チップロード(ソフト)タイルタイプ

施工要領書

製品内容

I. チップロード タイルタイプ(10mm厚仕様)

材 料	サイズ	梱包単位	標準使用量	
ゴムチップ平板	標準(10mm厚)	300×300×10mm	30枚/ケース(約2.7㎡)	11枚/㎡
接着剤	小面積用	5kg缶	4缶/ケース(約6~8㎡×4缶)	600~800g/㎡
	大面積用	16kg缶	1缶(約20~26㎡)	600~800g/㎡

II. チップロードソフト タイルタイプ(20mm厚仕様)

材 料	サイズ	梱包単位	標準使用量	
ゴムチップ平板	ソフト(20mm厚)	300×300×20mm	15枚/ケース(約1.4㎡)	11枚/㎡
接着剤	小面積用	5kg缶	4缶/ケース(約5~6㎡×4缶)	800~1,000g/㎡
	大面積用	16kg缶	1缶(約16~20㎡)	800~1,000g/㎡

III. チップロード 点字タイルタイプ(10、20mm厚仕様)

材 料	サイズ	梱包単位	標準使用量	
ゴムチップ平板	警告用(10mm厚)	300×300×10mm	20枚/ケース(約1.8㎡)	11枚/㎡
	誘導用(10mm厚)	300×300×10mm	20枚/ケース(約1.8㎡)	11枚/㎡
	警告用(20mm厚)	300×300×20mm	12枚/ケース(約1.1㎡)	11枚/㎡
	誘導用(20mm厚)	300×300×20mm	12枚/ケース(約1.1㎡)	11枚/㎡
接着剤	小面積用	5kg缶	4缶/ケース(約5~8㎡×4缶)	10mm厚:600~800g/㎡ 20mm厚:800~1,000g/㎡
	大面積用	16kg缶	1缶(約16~26㎡)	10mm厚:600~800g/㎡ 20mm厚:800~1,000g/㎡

施工の前に

- 本製品は温度や水分などの影響によって製品寸法が変化する事がありますので、直射日光や高温、低温、雨水等を避けて保管してください。
- 下地の不陸調整が不十分な場合、施工面が凸凹になり歩行時のつまずきや転倒等の事故につながる恐れがある為、不陸調整はしっかりと行ってください。
- 下地には必ず2~3%程度の排水勾配をつけてください。
- この商品は、ゴムチップ平板と接着剤の2点からなる現場施工タイプの舗装材です。ゴムチップ平板と接着剤は別梱包となっていますので、施工前にご確認ください。
- 周囲は必ず養生してください。接着剤が付着すると取り除くことが出来ません。
- 接着剤には夏用(4月~10月)と冬用(11月~3月)があります。季節に応じて使い分けてください。
- 水は一切使用しないでください。水の混入は硬化不良の原因になります。
- 夏期、材料の保存は風通しの良い日陰などで保存してください。炎天下に材料を長期間置くと、材料温度が高くなるために可使時間が極端に短くなる場合があります。
- 冬期、材料は室内など気温の高いところに保存してください。気温の低い屋外に保存すると接着剤の粘度が高くなり、塗布作業に不具合を生じる事があります。
- 施工にあたっては次のものをご用意ください。

○ゴム鏝または櫛目鏝 ○シンナー(工具洗浄用) ○保護具(ゴム手袋、マスク、ゴーグルなど) ○カッター、ジグソー ○その他左官道具一式

適応下地

■ セメントモルタル、コンクリート

下地の清掃 及び補修



- ①
- 施工面は全鏝押さえとし、下地の不陸(凸凹)、欠損部、クラックなどの不良箇所はあらかじめ補修してください。



- ②
- 下地には2~3%程度の排水勾配をつけ、縁石には排水孔を設けるなどして水はけをよくしてください。
 - 下地は完全に乾燥させてください。下地が湿っていると接着不良の原因となります。



- ③
- 下地のホコリ、ゴミ、レイタンス、油分などは完全に除去してください。

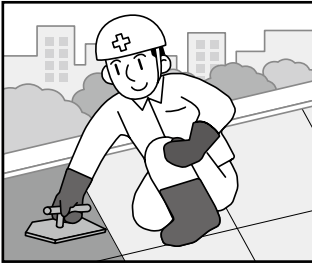
施工方法

1 ポイント出し



- 基準点からポイント出しを行い、位置を決めます。
- 施工面を1.5m程度のマスで区切るように墨打ちをし、交点を決めます。

2 接着剤の塗布



- ゴム鏝または櫛目鏝を使用して接着剤を塗布し、所定時間放置して下地となじませます。(なじませる時間は下表を参照してください。)
- 接着剤の塗布とゴムチップ平板の貼り合わせ作業は、2~3㎡単位で繰り返し行ってください。

		標準塗布量
ゴムチップ平板	10mm厚	600~800g/㎡
	20mm厚	800~1000g/㎡

3 貼り合わせ



- 初期粘着の確認を行いながらポイントラインがずれないように注意しながらゴムチップ平板を貼り合わせていきます。
- カットが必要な場合は、カッターで切断してください。

	夏(25~35℃)	春・秋(15~25℃)	冬(5~15℃)
下地となじませ	5~10分	10~20分	10~20分(冬用)
貼り合わせ可能時間	30~40分	40~60分	40~60分(冬用)
標準硬化時間	約1日	約1日	約2日

4 転圧・再転圧



- 貼り合わせ直後にローラーなどで転圧をかけて、よく圧着させます。
- 端や反り癖などの浮き防止のため、1~2時間後に再転圧をかけます。
※初期粘着が低いので、必ず再転圧を行ってください。
- 材料の性質上、気温差による若干の伸縮があります。気温差の大きい場所への施工には注意してください。
※気温差50℃において1%弱の伸縮の可能性があります。
※対処方法/冬場施工の場合は、若干ゆめめに施工してください。
夏場施工の場合は、ぴったりとくっつけて施工してください。

施工上の注意

- 屋外施工では、天候に注意し、降雨、強風時の施工は避けてください。
- 気温が5℃以下になる場合は、施工を避けてください。
- 夏期炎天下での施工は、接着剤の硬化が促進されて可使用時間が短くなるので注意してください。
- 接着剤が硬化しきらないうちに雨にあてないように、必要に応じてシートなどで雨養生してください。
- 接着剤が硬化するまで少々臭気が出ます。室内での施工の場合は、特に換気に注意してください。
- 接着剤が肌に付着しないようゴム手袋を使用し、万一肌に付着した場合は、石鹸ですぐに洗い流してください。
- 材料は直接日光、雨水のあたる場所、湿気の高い所、高温(40℃以上)、低温(0℃以下)での保管は避けてください。
- より詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。